【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公表番号】特表2003-527830(P2003-527830A)
【公表日】平成15年9月24日(2003.9.24)
【出願番号】特願2001-528556(P2001-528556)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/35　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　19/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　21/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ０７Ｋ　14/35
Ｃ０７Ｋ　19/00
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｐ　21/02　Ｃ
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月11日(2007.9.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　組換え異種ポリペプチドの安定かつ高収量の発現のための方法であって、該方法は、宿主細胞において融合ポリペプチドをコードする組換え核酸分子を発現する工程を包含し、該融合ポリペプチドは、Ｒａ１２ポリペプチドおよび異種ポリペプチドを含み、ここで、該Ｒａ１２ポリペプチドは、配列番号３に相補的な配列にストリンジェントな条件下でハイブリダイズするＲａ１２ポリヌクレオチド配列によってコードされ、該Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列は、該異種ポリペプチドをコードする異種ポリヌクレオチド配列の５’側に位置する、方法。
【請求項２】　前記融合ポリペプチドが、該融合ポリペプチドに連結されたアフィニティタグをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】　前記融合ポリペプチドが、前記宿主細胞より精製される、請求項１または請求項２に記載の方法。
【請求項４】　前記宿主細胞がＥ．ｃｏｌｉである、請求項１～請求項３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項５】　前記組換え核酸分子が、前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列と前記異種ポリヌクレオチド配列との間にリンカーペプチドをコードするポリヌクレオチド配列をさらに含む、請求項１～請求項４のいずれか１項に記載の方法。

【請求項６】　前記リンカーペプチドが切断部位を含む、請求項５に記載の方法。
【請求項７】　前記異種核酸配列が、ＤＰＰＤ、ＷＴ１、ママグロビン、またはＨ９－３２Ａポリペプチドをコードする、請求項１に記載の方法。
【請求項８】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、少なくとも３０ヌクレオチドを含む、請求項１～請求項７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項９】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、少なくとも６０ヌクレオチドを含む、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、少なくとも１００ヌクレオチドを含む、請求項８に記載の方法。
【請求項１１】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、配列番号１７に示されるＲａ１２ポリペプチドをコードする、請求項１～請求項１０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１２】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、配列番号１８に示されるＲａ１２ポリペプチドをコードする、請求項１～請求項１０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１３】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、配列番号３に示されるとおりである、請求項１～請求項１０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１４】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、配列番号１４に示されるＲａ１２ポリペプチドまたはそれに対して少なくとも９０％のアミノ酸配列同一性を有する改変体をコードする、請求項１～請求項１０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１５】　前記Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列が、配列番号１４に示されるＲａ１２ポリペプチドまたはそれに対して少なくとも９５％のアミノ酸配列同一性を有する改変体をコードする、請求項１４に記載の方法。
【請求項１６】　前記Ｒａ１２ポリペプチドが、少なくとも１０アミノ酸を含む、請求項１～請求項７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１７】　前記Ｒａ１２ポリペプチドが、少なくとも３０アミノ酸を含む、請求項１６に記載の方法。
【請求項１８】　前記Ｒａ１２ポリペプチドが、少なくとも１００アミノ酸を含む、請求項１６に記載の方法。
【請求項１９】　前記Ｒａ１２ポリペプチドが、配列番号４に示される配列を有する、請求項１～請求項７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２０】　前記Ｒａ１２ポリペプチドが、配列番号１７に示される配列を有する、請求項１～請求項７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２１】　前記Ｒａ１２ポリペプチドが、配列番号１８に示される配列を有する、請求項１～請求項７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２２】　前記方法が、前記Ｒａ１２ポリペプチドと前記異種ポリペプチドとの間で前記融合ポリペプチドを切断する工程をさらに包含する、請求項１～請求項２１のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２３】　組換え異種ポリペプチドの安定かつ高収量の発現のための方法における、配列番号３に相補的な配列にストリンジェントな条件下でハイブリダイズするＲａ１２ポリヌクレオチド配列の使用であって、該方法は、宿主細胞において融合ポリペプチドをコードする組換え核酸分子を発現する工程を包含し、該融合ポリペプチドは、該Ｒａ１２ポリヌクレオチドによってコードされるＲａ１２ポリペプチドおよび異種ポリペプチドを含み、該Ｒａ１２ポリヌクレオチド配列は、該異種ポリペプチドをコードする異種ポリヌクレオチド配列の５’側に位置する、使用。